

太平洋セメント株式会社の事業適応計画のポイント

2025年4月14日

- 当社は、2030年の中間目標である「2000年比サプライチェーン全体でCO₂排出原単位20%以上の削減」「国内ではCO₂排出量の40%以上の削減」を達成するために、省エネルギー化、化石エネルギー代替および混合材の利用拡大、低CO₂セメントの開発と、革新技術であるCO₂回収と利用に係る開発完了を掲げ、実現に向けてのロードマップを策定しています。
- 藤原工場の既設火力発電設備(ボイラ・タービン)は、稼働後53年が経過し主機の老朽化が進行しており、部分的な補修も限界となってきました。工場安定運転確保の為に、火力発電設備の早急なリニューアルが必要であり、新たな発電設備としてカーボンニュートラルを考慮したガスエンジンを採用します。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2025年4月 ~ 2028年3月

2. 生産性向上目標

藤原工場の炭素生産性を24.1%向上させることを目標とする。

3. 前向きな取り組みの内容

セメント及び関連製品を製造する藤原工場において、老朽化した火力発電設備を廃棄し、ガスエンジン発電設備に更新することで大幅なCO₂削減を図り、炭素生産性を向上させる。

4. 支援措置

税制措置(カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

<藤原工場の外観>

